【概要報告】2025年度 第4回理事会(定例)

■ 日 時: 2025年9月9日(火)午後6時30分から午後7時30分まで

■ 会場: 丸の内駅 アレックスビル会議室

■ 出席者: 大塚耕平、横井俊広、廣田修二、大下孝、河村禎之、近藤安彦、黒田伸浩、長谷川太一、

中村拓夫、大家浩靖、神谷幸次、渡邉裕吉、近藤努、首藤隆宏、髙垣政和、大津聡、

水越義雄、守屋一郎、縄田亮太、佐藤弘樹、淺井貞人、後藤圭三、佐々暁則、山田浩子、

西川浩然、小縣徹男、奥村勝己、後藤春幸 以上 28 名

■ 欠席: 石川和子、岡田三千雄、石川裕貴 3名

■ 陪席者: 事務局員【今井富美江、竹島優太、安永真由子】

司 会:大下専務理事

l 開 会

2 挨 拶【大塚会長】

残暑厳しい中御出席いただき感謝申し上げる。世界選手権で女子日本代表がレベルの高い試合をした。この 後の男子日本代表にも期待したい。本日も円滑な議事進行をお願いする。

議 長:河村禎之

議事録:事務局【竹島優太、安永真由子】

3 審議事項

(I) JOC 愛知県選手団について

【髙垣強化委員長】

ア 選考会にて選手決定

イ 選手団名簿は、クラブチーム所属選手も記載上中学校名で統一

【これについて諮り、承認】

(2) 2026 年度個人年会費及び団体年会費改定について

【財務検討委員会 大下委員】

ア 個人年会費について

- (ア) 年会費改定基本方針に則り、事前配布資料と同様の個人年会費及び団体年会費資料を提示
- (イ) 事前配布資料に対し、理事から質問、意見、要望はなし
- (ウ) 本日は、当会個人年会費を内定したい。
- (エ) スタッフ個人年会費は、(公財)日本バレーボール協会に倣い選手よりもやや高めに設定
- (オ) 設定額は、一般会計収支バランスを考慮
- (カ) 以下の質問に対しそれぞれ回答
 - a JVA 及び全国連盟額について

JVA 及び全国連盟額は7月 22 日 JVA 登録制度改定説明会の提示通り、それ以降変更連絡がなく決定と認識

- b スタッフ兼選手で登録の場合、選手又はスタッフのどちらで登録か
 - (a) 選手とスタッフのみのカテゴリーでの登録
 - (b) スタッフ兼選手はどのカテゴリーで登録は不明
 - (c) 高等学校や中学校の場合、控え選手等がスタッフとなる
 - (d) いずれの場合も不明であるため確認
- c 小学生スタッフの複数チーム登録 確認する
- イ 連盟配賦金額
 - (ア) 連盟から10月7日まで回答
 - (1) 現状は個人年会費50%額を連盟に配賦
- (ウ) 「連盟配賦金」は、当会徴収の個人年会費を連盟に配賦するもので「連盟登録料」ではない
- ウ 今後のスケジュール
 - | 1 月 | 8 日の第5回理事会で確定

エ 一部回答を要する点もあるが、当会個人年会費及び団体年会費の内定を提案

【これについて諮り、承認】

4 報告事項

(I) Aichi Volleyball Fes2025

【大下専務理事】

資料にて説明

(2) ジャパンビーチバレーボールツアー(BVTI)名古屋大会

【大下専務理事】

資料にて説明

(3) 専務理事

【大下専務理事】

ア 2025 年度予算

- (ア) 2025 年度予算申請時に審判委員会から OA 機器購入申請
- (1) 2025 年度 0A 機器購入費の予算計上漏れ
- (ウ) 当初申請通り予算計上し執行した。

才 弁護士相談

- (ア) 問い合わせの内容からその対応に法的根拠が必要なケースが多々あり
- (1) 当会理事のみで対応することの限界
- (ウ) 2名の弁護士と面談し、必要に応じて相談し法的根拠のもと対応
- (I) 以下の質問にそれぞれ回答
 - a 相談料金

相談時間に応じての料金、調査やヒアリングを依頼する場合は別途料金

b 調査やヒアリング 当会で判断し依頼する

(4) 2025 年度中間収支報告依頼

【黒田事務局長】

期日内報告の依頼

(5) わた SHIGA 輝く国スポ 2025 ビーチバレーボール競技

【髙垣強化委員長】

ア 男子が準優勝、女子が2回戦敗退

イ 6人制は少年男子のみの出場

(6) ママさん各大会

【代行 黒田事務局長】

資料にて説明。

(7) 組織改革委員会

【大下委員長】

資料にて説明

(8) 財務検討委員会

【代行 大下委員】

審議事項内容で報告

4 次回理事会

- (1) 日時 2025年11月18日(火) 午後6時30分から午後8時まで
- (2) 会場 丸の内アレックスビル会議室

5 挨 拶【廣田副会長】

本日も残暑厳しい中御出席いただき感謝申し上げる。世界選手権で勝敗を決する場面を制する難しさを感じた。世界選手権適用のルール等の変更を各カテゴリーへの浸透が重要と感じた。各カテゴリーの今後の大会運営が円滑に進むことを期待する。